

【表紙】

【提出書類】 内部統制報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の4第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2026年6月19日

【会社名】 株式会社MIXI

【英訳名】 MIXI, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 上級執行役員 CEO 木村 弘毅

【最高財務責任者の役職氏名】 取締役 上級執行役員 CFO 島村 恒平

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号  
渋谷スクランブルスクエア

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【財務報告に係る内部統制の基本的枠組みに関する事項】

代表取締役社長 上級執行役員 CEO 木村 弘毅及び取締役 上級執行役員 CFO 島村 恒平は、当社及び連結子会社並びに持分法適用会社（以下「当社グループ」）の財務報告に係る内部統制を整備及び運用する責任を有しており、企業会計審議会の公表した「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準並びに財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準の改訂について（意見書）」に示されている内部統制の基本的枠組みに準拠して財務報告に係る内部統制を整備及び運用しております。

なお、内部統制は、内部統制の基本的要素が有機的に結びつき、一体となって機能することで、その目的を合理的な範囲で達成しようとするものであります。このため、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止または発見することが出来ない可能性があります。

## 2 【評価の範囲、基準日及び評価手続に関する事項】

財務報告に係る内部統制の評価は、当連結会計年度の末日である2026年3月31日を基準日として行われており、評価に当たっては、一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠しております。

本評価においては、連結ベースでの財務報告全体に重要な影響を及ぼす内部統制（全社的な内部統制）の評価を行いました。また、選定された業務プロセスを分析した上で、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を識別し、当該統制上の要点の整備及び運用状況を評価することによって、内部統制の有効性に関する評価を行いました。

財務報告に係る内部統制の評価範囲は、当社グループについて、財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性の観点から必要な範囲を評価対象といたしました。財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性は、財務報告に対する金額的及び質的影響並びにその発生可能性を考慮して決定しており、当社及び連結子会社5社を対象として行った全社的な内部統制の評価結果を踏まえ、業務プロセスに係る内部統制の評価範囲を合理的に決定しました。なお、連結子会社27社（持分法適用関連会社4社）については、金額的及び質的影響の重要性の観点から僅少であると判断し、全社的な内部統制の評価範囲に含めておりません。

業務プロセスに係る内部統制の評価範囲の決定に当たっては、売上高を評価範囲の選定指標といたしました。当社グループは、スマートデバイス向けゲームを主力とするデジタルエンターテインメント事業、観戦や公営競技事業を中心とするスポーツ事業、アプリを通じたサービス提供を中心とするライフスタイル事業、スタートアップやベンチャーキャピタルへの出資を行う投資事業など複数の事業を展開しております。これらの事業特性から、売上高が事業活動の規模を適切に示す指標であると判断し、連結会計年度の売上高（連結消去後）のおおむね2/3を占める3拠点を重要な事業拠点として選定いたしました。選定した重要な事業拠点においては、当社グループの事業目的に大きく関わる勘定科目である「売上高」「売掛金」に至る業務プロセスを評価対象といたしました。さらに、選定した重要な事業拠点に限らず、それ以外の事業拠点も含めた範囲について、重要な虚偽記載の発生可能性が高く、見積りや予測を伴う重要な勘定科目に係る業務プロセスとして企業結合における取得原価配分決定のプロセスやのれん及びその他無形固定資産の減損プロセスを個別に評価対象に追加しております。なお、当社グループは無形のサービス提供を中心としたビジネスモデルのため、棚卸資産に関する勘定科目は重要性が低いと判断し評価対象に含めておりません。

## 3 【評価結果に関する事項】

上記の評価の結果、当連結会計年度末日時点において、当社グループの財務報告に係る内部統制は有効であると判断いたしました。

## 4 【付記事項】

該当事項はありません。

## 5 【特記事項】

該当事項はありません。